

第 48 回創価大学・第 34 回創価女子短期大学入学式「祝辞」

ジョン・バルギース

尊敬する馬場学長、教員の皆さま、セント・スティーブンズ・カレッジと創価大学の交流交換プログラム・コーディネーターのムケーシュ・ウィリアムス教授、そして親愛なる学生の皆さん。こんにちは！インド、ニューデリーのセント・スティーブンズ・カレッジを代表してご挨拶申し上げます。本日の入学式の来賓としてお招きいただきましたご厚情に、心より感謝申し上げます。大変に光栄であります。

セント・スティーブンズ・カレッジと創価大学の交流交換プログラムが開始されてから四半世紀が経ちました。本日皆さんの前でお話しさせて頂けるのは、一重に両校の交流と友情の強い絆の賜物であります。

両校はそれぞれ類のない、確かな価値観によって象徴されています。

創価大学は学生の皆さんの礼儀正しさや優しさ、そしてその人間主義の価値を体現されています。セント・スティーブンズ・カレッジは、世界に雄飛し、違いをもたらす卒業生に特筆される卓越性と献身によって象徴されます。共に、私たちは世界にポジティブなインパクトを与えていると確信いたします。しかし、それで終わってはけません。

大事なことは、創価大学やセント・スティーブンズ・カレッジの様な大学機関から卒業するすべての学生は、世界をより良くするための貢献をしなければならないということです。それが、私たちの義務であります。ひとりの男性、女性が世界を変えることは可能です。しかし、私たち全員が力をあわせれば、より迅速に、世界を大きく変革することが出来るのであります。

本日は創価大学にとって、大変に大事な日であります。未来に向かって覚悟を決める決意をした新入生を歓迎する日だからであります。新入生の皆さん、ようこそ！

新入生の皆さんは、様々な理由から創価大学を選ばれたのだと思います。知識と英知を得るため、学位を取得するため、あるいは友人が創価大学に入学したからかもしれません。どのような理由であれ、創価大学が皆さんを歓迎した最大の理由は、皆さんに世界を変えてほしいからなのです。

これこそが、創価大学が皆さんを迎えた本当の理由だと確信いたします。何故それがわかるかというと、我が大学も同じ理由から最優秀の学生を迎え入れるからです。世界に通用する大学と

John Varghese (デリー大学セント・スティーブンズ・カレッジ学長)

して、両大学には果たさなければならぬ目的があります。皆さんの高名で寛大で、卓越した創立者の池田大作博士のお言葉を拝借するのであれば、皆さんは世界に平和をもたらさなければなりません。そして、その平和は内面（心）から発するものでなければなりません。

創価大学に期待を寄せる新入生の皆さん、創立者が言われるように、皆さんが世界を変えなければなりません。そしてその変革は内面から起きなければなりません。世界は変革を必要としています。グローバル社会として、私たちの展望や優先事項、成長に対する理解にも変革が必要です。世界はその変革を必要としており、その変革は明日を担う青年の皆さんによって体现されます。

では、変革とはどの様にすればもたらすことが出来るのでしょうか？それは、内面的な力を強化することによって可能になります。それこそが創価大学やセント・ステイブンス・カレッジが得意とする分野であります。大学で皆さんは、勉学のみならず、自分自身についてより深く学ぶことになります。偉大な作家の著書を通して、また教員や友人との交流を通して、そして自分自身を見つめる事を通して、それらは自分を発見し、成長をする素晴らしいチャンスになります。内面の成長です。そして、そのことを意識しなければなりません。

学業の一環として、世界の偉大な作者の著書を学ぶ時、それを世界の最も優れた知性との交流のチャンスだととらえてください。歴史家と過去の出来事について対話をしたり、科学者と科学の原理原則について対話をしたりと、常に対話や交流等、全力で物事に関わることです。

教員と交流する時もそうです。先生方をよく観察するのです。そうすると先生方から沢山のことを教えてもらえる事がわかります。それは、先生方の話し方かもしれません。アドバイスの仕方かもしれません。ペナルティーの与え方かもしれません。いずれにしても、先生方から、自身の内面の可能性を築く素晴らしいチャンスを与えてもらえます。

友人と交流をする時は、胸がスカッとする、爽快で楽しい時間を過ごしてください。25年経った時に、自分の子供達と楽しい思い出話として語れるような、交流をしてください。

この様に、多くのチャンスに恵まれていることに気がつくと、大学での教育が如何に充実しているかを理解することができます。皆さんの周りにも、創価大学で教育を受けることができない青年が多くいると思います。様々な理由からこの大学で勉強をすることができない青年がいます。でも、皆さんは入学することができました。ということは、皆さんには大きな責任があるのです。自分自身のためだけではなく、この大学に来ることが出来なかった人たちのためにも、努力をしなければなりません。皆さんにはその義務があります。

皆さんの家族への義務でもありますし、何よりも、自分自身に対する義務であります。

私たち両大学には、入学をするすべての学生に吸収してもらいたい固有の価値体系があります。それは、簡素な生活、卓越した結果への献身、そして社会への貢献です。

親愛なる学生の皆さん、創価大学での人生が始まるに当たり、この三つの価値によってもたらされる平和と成功、そして喜びを皆さんが享受されることを願いたします。

最後に、この度の訪問を可能にしてくださった馬場学長、ムケーシュ・ウィリアムス教授並びに関係者の皆さまに再度御礼申し上げます。大変にありがとうございました。